



語学研修+企業インターンシップ



ACCESS
LANGUAGE
CENTRE

インターン先はノースシドニーのホテルで、仕事内容はホテル内のレストラン、バーテンダー、フロントデスク、ルームサービス、その他ビジネス向けの会議の会場セッティング等、多岐にわたって経験させてもらっています。時には電話対応でオーダーを取る場面もあります。もともとホスピタリティに興味があり、将来ホスピタリティ関連の仕事したいと思ってホテルでのインターンシップを選びました。1ヶ月間という限られた時間で、できるだけ多くの経験を得たいと思い、自分からお願いしてこんなにもたくさんの仕事を体験させてもらってます。そこで働いている人、お客様はもちろんネイティブの方だけなので、日本語を話す場面は一切ありません。ワーキングホリデーの方は日本食レストランしか仕事先が見つからないのが現実で、実際にローカルで仕事を探してもなかなかうまく仕事は手に入りません。私も実際、このインターンシップの前に数ヶ月ですが日本食レストランでアルバイトを経験しました。ローカルで仕事をするということは、一切妥協が許されなく、時には自分の英語力の虚しさを感じる時もありますが、スピーキングを鍛えるためには多くの人と英語で実際に喋ってみる、ということがやはり一番の近道です。1か月間のインターンはフルタイムで出勤にもかかわらず給料は一切もらえません。なので自分の興味のある分野のインターン先を選ぶことをお勧めします。しかしこれをきっかけにこのままそこで仕事のオファーがもらえる可能性もあるので、チャレンジしてみてください。

Ms Riko SUDO

私はアクセスでは一般英語コースから始めました。クラスはブラジル、コロンビア、スイス、フランスと国際色豊かな明るくて賑やかなクラスでした。

授業では、英語力のレベルアップのための勉強はもちろん、お互いの意見やアイデアを交換・共有することを通して、国籍によって考え方の違いなどの新しい発見が出来たことも面白かったです。そして、1番感じたことは、どのくらいの英語力であっても“伝えたい”と言う強い気持ちがあれば、伝わるし理解してもらえる、そしてどんなに難しいことでもトライすることで自分の成長にも繋がると強く思いました。英語コースが終わり、日本の大手旅行会社のシドニー支社のインターンシップに参加することが出来ました。旅行が好き、そして旅行会社にも興味があったのでインターン出来るのはとても良い経験だと思っています。始まって1ヶ月ちょっとになりますが、words, Excel, PowerPointを使って資料を作ったり、お客様のホテルやレストランの予約を電話で問い合わせをしたりしています。わたしのセクションはほとんどが日本人なのですが、オフィスのほとんどの方が英語がペラペラでビジネス英語を勉強したことがなかったわたしはとても緊張しました。最初は、電話での問い合わせも中々勇気が必要で、ネイティブの人の会話がしっかり聞き取れるか、正確な情報を伝えられるかでさえてとても心配でした。繰り返し経験を積むことで、今では、周りの人が使っているビジネス英語、フレーズをキャッチして自分もぜひ使ってみよう！と積極的に覚えて活用しています。いざ、オフィスで仕事をしないと聞くことができないビジネスシーンで使える英語表現、そしてメールの書き方、電話対応のマナーなどインターンを通して学べるのがたくさんあり、貴重な経験が出来たことに感謝しています。Ms Akiho TERUNUMA